

「あなたがたは地の塩、世の光です」 マタイ5：13-16 17・10・29

I 地の塩。

「あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩気をなくしたら、何によって塩気をつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけです」：13。

1. キリスト者は、世から孤立して生きる者ではない。

キリスト者は、この世のものではないが、この世に主から主の証人として遣わされている。私達が、心貧しく、憐み深く、柔和で、義に飢え渴き、心がきよめられのは、ある意味で、「地の塩」となる為である。ここからの数節は、キリスト者とこの世の関係が明確に語られている。

2. 地の塩とは。

地、この世は、私たち人間の心にある罪、悪で腐敗し続けている。愛に満ち、聖く正しい神から離れた地、この世は、墮落し、愛が冷え、罪に満ち、悪に染まり、汚れたものになり易い傾向を持っている。残念ながら不正を隠す者が出世する世である。地、世は、だんだん良くなるのではなく、腐敗し、化膿し易い傾向がある。

3. それ故に、地には腐敗を防ぐ防腐剤の役を果たす「塩」が、どうしても必要である。それが、恵みとまことに満ちた主から新しい命と力と愛と塩味をいただく私達キリスト者の大切な使命、役割。家庭、職場、学校において。キリスト者は、塩＝防腐剤、聖め剤として貴重な存在。ここに主の忠告がある。

「もし塩が塩気をなくしたら、何によって塩気をつけるのでしょうか。もう何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけです」：13。

私達が、主からいただく塩気（聖さ、正しさ、正義）をなくし、この世の罪、悪と調子を合わせる事がないように祈りたい。

「あなたがたは、異邦人たちがしたいと思っている事を行い、好色、欲望、泥酔、遊興、宴会騒ぎ、律法に反する偶像礼拝などにふけりましたが、それは過ぎ去った時で十分です。異邦人たちは、あなたがたと一緒に、度を越した同じ放蕩（泥酔、不品行、悪、不正、いじめ、悪口）に走らない（それが塩の働き、腐敗の歯止め、ある時は祈りつつ勇気をいただいて不正を正す）ので不審に思い、中傷します（「付き合いが悪い人だ」と）が、彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしている方に対して、申し開きをすることになります」（I ペテロ4：3，4）。

神はすべてを見ておられる。塩気のある主と私達が日々結びついて、主と結びついた私たちの存在が、霊的な塩気、霊的防腐剤となり、家庭、職場、学校、社会の罪、悪の歯止めとなりますように。

II 「あなたがたは世の光です」：14。

1. この世は暗黒状態にある。しかし、希望がある。真の光である主イエスがこの世に来られたからである。主は言われた。

「わたしは世の光です。わたしに従う（ついて来る）者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます」（ヨハネ8：12）。

キリスト者が「世の光」であるのは、「世の光」である方との命の関係、命のつながり、命の親しい交わりがあって初めて成立する。主だけが、いのちの光を与えて下さる。

「あなたがたは以前は闇でしたが、今は、主によって光となりました。光の子どもとして歩みなさ

い」(エペソ5:8)。

主を信じ、御聖霊により主と結合し、主の命、御性質が私達の中に入り、私達は主に似る者に変えられ続ける。私達は、光である主の反射体とされる。

2. 光の役割。

①光は、暗闇を照らし、罪、悪を明らかにする。主の光を受けた私達が、世に遣わされて生活する時、主にある愛と聖い生き方は、世の人々の罪、悪を照らす。

「家にいるすべての人を照らします」: 15。

②しかし、それで終わりではない。光である主は、私達の闇を照らし罪を示すだけではなく、私達の闇の一つ一つの罪の為に死に、復活され、自分の罪を認め、主を信じる私達の罪を赦し、新しい命を下さる方であると確信をもって伝える私達、世の光へと変えて下さる。素晴らしい救いの光である主を伝える事が、世の光とされた私達の務めである。主にある愛の行い、聖書配布、福音版、福音を証する本をプレゼントする、教会の集会に誘う等を通して。主はワンパターンではなく、色々な事を通して私達を愛し、救いに導いて下さる素晴らしいお方！

主が与えて下さる光は、

i 命の光。新しい命、人生を与え、永遠の命を与える光。

ii 人生の中で、絶望しそうになる時も、真の希望を与える光。どんなにつらい中でも、光である主がともおられ、支えて下さる真の希望。

iii 私達の冷え切った心を、真に暖めて下さる光。

iv どうしたら良いかわからない暗い人生の中で、道を照らして下さり、正しい道に導いて下さる光。

「主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに 私を義の道に導かれます」詩篇23:3。

「あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です」詩篇119:105。

Ⅲ「このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです」: 16。

ここで言われている「良い行い」は、人に良く見せるためではなく、純粋な動機で行い、神の栄光の為に。また、いやいやながらの無理をしている行いではなく、心に住んでおられる主の命から生まれる行い。先行する神の驚く恵みへの感謝から生まれる行い。心に住んでいて下さる御霊が実らせて下さる実である愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制に満ちた行い。その秘訣は、主日礼拝で満ち満ちておられる主の恵みを受け、日々命の主と交わり、主からの霊的養分を受け続ける。神の家族である教会の兄弟姉妹と交わり、御言葉の恵みを分かち合い、祈り合い支え合う。その交わりの中におられる主の臨在に満たされる。御霊に満たされ(支配され)続ける。神に造られ、救われ、愛されている私達の生きる目的は、私達が神の恵みを心から感謝し、私達のすべてを通して、神が崇められ、神の栄光が現わされる事。

「あなたがたは、食べるにも飲むにも、何をするにも、すべて神の栄光を現わすためにしなさい」

Iコリント10:31。

「わたしの栄光(神の素晴らしい御性質、神の素晴らしさが現れる)のために、わたしがこれ(私達被造物)を創造した」イザヤ43:7。

神の深い愛、聖さ、命の光を受けながら、神の栄光を現わしつつ、真の光である主の福音を伝え続ける事ができますように！